

「明日の綾部」考えよう

公開討論会やグルメ、職業体験

綾部YEGが40周年記念事業

綾部商工会議所青年部(綾部YEG、小寺建樹会長、62人の創立40周年記念事業「綾部創生」ここから始まる新たな未来」が3日、西町一丁目のI・Tビルと西町アイタウン1番街を会場にして開かれ、公開討論会や職業体験、グルメブースなどを目当てに多くの市民が来場した。



「あやベサミット」は会場の入場人数を制限する中で行われた(写真はいずれも西町一丁目で)

I・Tビルでは「明日」した公開討論会「あやベサミット2020」の綾部を考える」と題して



あやザニアIVで大工のかんな掛けを体験する子どもら

が開かれた。パネリストは小寺会長のほか山崎善也市長、井ノ元美和・白東精一人事課長、福知山公

【高崎健太】

立大学2年の山本優花さんの4人。コーディネーターは同大学の杉岡秀紀准教授が務めた。

討論会では、初めに小寺会長が綾部YEGが提言している「ローカルホリデー」をテーマに挙げ、「単に休日を作るだけでなく、市民一人ひとりが綾部について考える一日にしたい」と問題提起。パネリ

ストからは「生涯キャリア形成のために『学び直し』ができる一日にしては(井ノ元氏)」「若者もイベントに参加できるよう大学とも連携を(山本さん)など賛同を得た。

また「綾部創生の新しいキーワード」の議論では、「少しの時間で若者から高齢者まで働ける『半〇半X』(山本さん)」「人生100年時代の『生涯現役』(井ノ元氏)」「市民の精神的な豊かさを表現する『祈りのあるまち』(山崎市長)」「働く場所を次代につなぐ『事業承継』などの案が挙がっ



屋外のグルメブースはエリアが区切られ、入り口では感染防止対策が徹底された

120人の子ら 大工や紙すきなど体験

また、歩行者天国と体験した。

た(詳細は6日付で掲載予定)。
会場内では今年で4年目を迎える小学生向け職業体験イベント「あやザニアIV」が行われ、事前に申し込んだ延べ約120人の子どもらが大工、紙すき、生糸の座繰り、ラジオ局などの中から好みの仕事を選んで体験した。

なった屋外では地元飲食店10店舗による「グルメブース」が展開され、入り口では検温や消毒など新型コロナウイルス感染防止対策が徹底される中で、多くの来場者が飲食を楽しんだ。そのほか、小学生にふるさとへの関心を深めてもらう「丹の国あやベクイズ大会」も開かれた。